

総合交通対策調査特別委員会 陳情説明資料

令和5年10月13日

件名	頁
1 受理番号38 小さな交通「グリーンスローモビリティ」の早期実現を求める陳情	2

(都市建設部)

件名	受理番号 38 小さな交通「グリーンスローモビリティ」の早期実現を求める陳情					
所管部課名	都市建設部交通対策課					
請願の要旨	福祉としての交通の在り方が全国的に問われており、狭い生活エリアの移動手段であるグリーンスローモビリティを早期に実現して欲しい。					
請願者等	請願文書表のとおり					
紹介議員名	なし					
内容及び経過	<p>1 グリーンスローモビリティの概要</p> <p>「グリーンスローモビリティ」は、時速20km未満で公道を走ることができる環境に優しい電動車を活用した小さな移動サービスの総称である。</p> <p>足立区においては、令和5年6月に開催したしょうぶまつり内のコンテンツとして、グリーンスローモビリティの乗車体験を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">乗車体験の様子（令和5年6月3日、4日 東綾瀬公園）</p> <p>2 現在の状況</p> <p>(1) 松戸市の視察について</p> <p>公共交通としてではなく、高齢者の社会参加促進やコミュニケーションツールとして、グリーンスローモビリティの本格運行を行っている松戸市へ、令和5年2月と7月に視察を行った。</p> <p>ア 行政と地域の役割</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">松戸市の役割</th> <th style="text-align: center;">地域団体の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車両の購入、任意保険やメンテナンス費用の負担、運営費等の補助、運転講習会の開催、関係機関との調整 等</td> <td>ドライバー（ボランティア）及び利用者の確保、駐車場及び充電場所の確保、利用者の予約受付 等</td> </tr> </tbody> </table>		松戸市の役割	地域団体の役割	車両の購入、任意保険やメンテナンス費用の負担、運営費等の補助、運転講習会の開催、関係機関との調整 等	ドライバー（ボランティア）及び利用者の確保、駐車場及び充電場所の確保、利用者の予約受付 等
松戸市の役割	地域団体の役割					
車両の購入、任意保険やメンテナンス費用の負担、運営費等の補助、運転講習会の開催、関係機関との調整 等	ドライバー（ボランティア）及び利用者の確保、駐車場及び充電場所の確保、利用者の予約受付 等					

イ 視察結果

- (ア) 国の認可等が不要なボランティアによる運行とし、運行車両は白ナンバーである。
- (イ) 車両費は改造費込で約23,000千円(3台分)である。
- (ウ) 防犯パトロール(青パト)用の機材、非常電源用のソーラーパネルなど、車両には付加価値をつけている。
- (エ) エアコンは設置されているが、今夏のような猛暑ではほとんど効かない状況である。
- (オ) 利用者は日にもよるが、1ルートあたり7~8人である。
- (カ) 安全安心な運行のため、助手席に運転手補助員が同乗している。
- (キ) 導入した地域からは好評であるものの、事業を継続していくためには、運転手などの「担い手」を確保していく必要がある。

ウ 運行車両



タジマ社製、写真は8人乗りタイプ

(2) 新たな地域主導型交通の導入支援制度について

グリーンスローモビリティや乗合タクシーといった少量輸送の移動手段も含め、交通不便の解消等に主体的に取り組む、区内の企業や団体、町会・自治会等を対象とした支援制度の導入検討を進めている(世田谷区、目黒区等で導入済)。